報　道　発　表

令 和 元 年 5 月 28 日
秋田地方気象台
秋田河川国道事務所
湯沢河川国道事務所
能代河川国道事務所
秋田県

指定河川洪水予報及び土砂災害警戒情報への「警戒レベル相当情報」の追記について

秋田地方気象台、秋田河川国道事務所、湯沢河川国道事務所、能代河川国道事務所と秋田県は、令和元年 5 月 29 日から指定河川洪水予報及び土砂災害警戒情報と警戒レベルの関連を明確化し、住民の自主的な避難判断を支援するため、参考となる「警戒レベル相当情報」を追記して発表します。

平成 30 年 7 月豪雨における甚大な被害を受け、中央防災会議「平成 30 年 7 月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」の報告書で「様々な防災情報のうち、避難勧告等の発令基準に活用する情報について、警戒レベル相当情報として、警戒レベルとの関連を明確化して伝えることにより、住民の主体的な行動を促すこと」が示されました。

これを受け、秋田地方気象台、秋田河川国道事務所、能代河川国道事務所、湯沢河川国道事務所と秋田県は、共同で発表する指定河川洪水予報及び土砂災害警戒情報と警戒レベルの関連を明確化して伝えるため、下記のとおり指定河川洪水予報及び土砂災害警戒情報に「警戒レベル相当情報」を追記して発表することとしましたのでお知らせします。

記

1　運用開始日時　　令和元年 5 月 29 日 13 時

2　「警戒レベル相当情報」を追記した指定河川洪水予報及び土砂災害警戒情報の例
　別紙参照

【本件に関する問い合わせ先】
秋田地方気象台　防災気象官　戸堀　博之　　電話　018-864-3955
秋田河川国道事務所　副所長　齊藤　正道（内線 204）　電話　018-823-4167
　調査第一課長　成田　正喜（内線 351）
湯沢河川国道事務所　副所長　小嶋　光博（内線 204）　電話　0183-73-3174
　調査第一課長　野口　暁浩（内線 351）
能代河川国道事務所　副所長　三浦　猛　（内線 204）　電話　0185-70-1001
　調査第一課長　長谷川優人（内線 351）
秋田県　建設部河川砂防課　加賀　良宏　　電話　018-860-2511

別　紙

※　以下の情報において赤字のとおり、警戒レベルを追記します。
　　実際の発表時には、これらは黒字で記載します。

１．警戒レベルを追記した指定河川洪水予報の例

発表者	→	第１受報者	→	第２受報者	→	第３受報者
国土交通省　○○河川事務所 気象庁　○○地方気象台		機関名		機関名		機関名

正規

○○川氾濫危険情報

○ ○ 川 洪 水 予 報 第 ○ 号
洪　　水　　警　　報
平成○○年○月○日○○時○○分
○○河川事務所　○○県・○○地方気象台　共同発表

（見出し）

【警戒レベル４相当情報［洪水］】○○川では、氾濫危険水位に到達し、氾濫のおそれあり

（主　文）

【警戒レベル４相当】○○川の○○○水位観測所（○○県○○市○○）では、○○日○○時○○分頃に、
避難勧告等の発令の目安となる「氾濫危険水位」に到達しました。○○市、○○市、○○町では、○○川の堤防決壊等による氾濫により、浸水するおそれがあります。市町村からの避難情報を確認するとともに、各自安全確保を図るなど、適切な防災行動をとって下さい。

（雨量）

所により1時間に50ミリの雨が降っています。

今後もこの雨は降り続く見込みです。

流域	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量	00日00時00分～00日00時00分までの流域平均雨量の見込み
○○川流域	○○○ミリ	○○ミリ

（水位）

○○川の水位観測所における水位は次のとおりと見込まれます。

観測所名	水位危険度			レベル１	レベル２	レベル３	レベル４
	水位(m)			水防団待機	氾濫注意	避難判断	氾濫危険
○○○水位観測所（○○県○○市○○）	00日00時00分の状況	XXX.X↑					
	00日01時00分の予測	XXX.X					
	00日02時00分の予測	XXX.X					
	00日03時00分の予測	XXX.X					
△△△水位観測所（○○県△△市△△）	00日00時00分の状況	XXX.X↑					
	00日01時00分の予測		—				
	00日02時00分の予測		—				
	00日03時00分の予測		—				
□□□水位観測所（○○県□□市□□）	00日00時00分の状況	XX.X↑					
	00日01時00分の予測	XX.X					
	00日02時00分の予測	XX.X					
	00日03時00分の予測	XX.X					

水位のグラフは各水位間を按分したものです。
水位危険度レベル４については、氾濫危険水位と計画高水位を按分しており、氾濫危険水位＝計画高水位の場合は最大になります。

（参考資料）

（単位：水位(m)）

観測所名	○○○水位観測所	△△△水位観測所	□□□水位観測所
	○○県○○市○○	○○県△△市△△	○○県□□市□□
レベル４水位 氾濫危険水位※	144.9	48.6	23.1
レベル３水位 避難判断水位※	144.6	48.0	21.5
レベル２水位 氾濫注意水位	142.5	46.5	20.0
レベル１水位 水防団待機水位	142.0	45.5	－
受け持ち区間	○○川	○○川	□□川
	左岸　○○県○○市から ○○県○○市	左岸　○○県○○市から ○○県○○市	左岸　○○県○○市から ○○県○○市
	右岸　○○県○○市から ○○県○○市	右岸　○○県○○市から ○○県○○市	右岸　○○県○○市から ○○県○○市
	○×川	△△△川	－
	左岸　○○県○○市から ○○県○○市	左岸　○○県○○市から ○○県○○市	－
	右岸　○○県○○市から ○○県○○市	右岸　○○県○○市から ○○県○○市	－
	○○○○川	－	－
	左岸　○○県○○市から ○○県○○市	－	－
	右岸　○○県○○市から ○○県○○市	－	－
氾濫が発生した場合の浸水想定区域	○○県○○市○地区、 ○○県○○市○○地区、 ○○県○○市○○○地区、 ○○県○○市□□地区、 ○○県○○市○地区、 ○○県○○市○○地区、 ○○県○○市○○○地区、 ○○県○○市□□地区、	△△県△△市○区、 △△県△△市○○区、 △△県△△市○○○区、 △△県△△市□区、 △△県□□市○×地区、 △△県□□市○○×地区、 △△県□□市□×地区、 △△県□□市□□×地区、	××県×市○地区、 ××県○市○○地区、 ××県××市○○○地区、

※避難判断水位、氾濫危険水位：水位観測所受け持ち区間内の第１位危険箇所の
避難判断水位・氾濫危険水位を水位観測所に換算した水位です。

水位危険度レベル	水位	求める行動の段階
レベル５	氾濫の発生以降	氾濫水への警戒を求める段階
レベル４	氾濫危険水位から氾濫発生まで	いつ氾濫してもおかしくない状態 避難等の氾濫発生に対する対応を求める段階
レベル３	避難判断水位から氾濫危険水位まで	避難準備などの氾濫発生に対する警戒を求める段階
レベル２	氾濫注意水位から避難判断水位まで	氾濫の発生に対する注意を求める段階
レベル１	水防団待機水位から氾濫注意水位まで	水防団が体制を整える段階

「雨量」「水位」等の情報は、下記のサイトからもご覧いただけます。

川の防災情報 気象庁ホームページ	パソコンから	携帯電話から
	http://www.river.go.jp/ https://www.jma.go.jp/	http://i.river.go.jp/

問い合わせ先
水位関係：国土交通省　○○河川事務所　○○○○課　電話：000-000-0000（内線）○○○
　　○○県　河川砂防課　電話：000-000-0000（内線）○○○
気象関係：気象庁　○○地方気象台　電話：000-000-0000（内線）○○○

２．警戒レベルを追記した土砂災害警戒情報の例

秋田県土砂災害警戒情報 第〇号

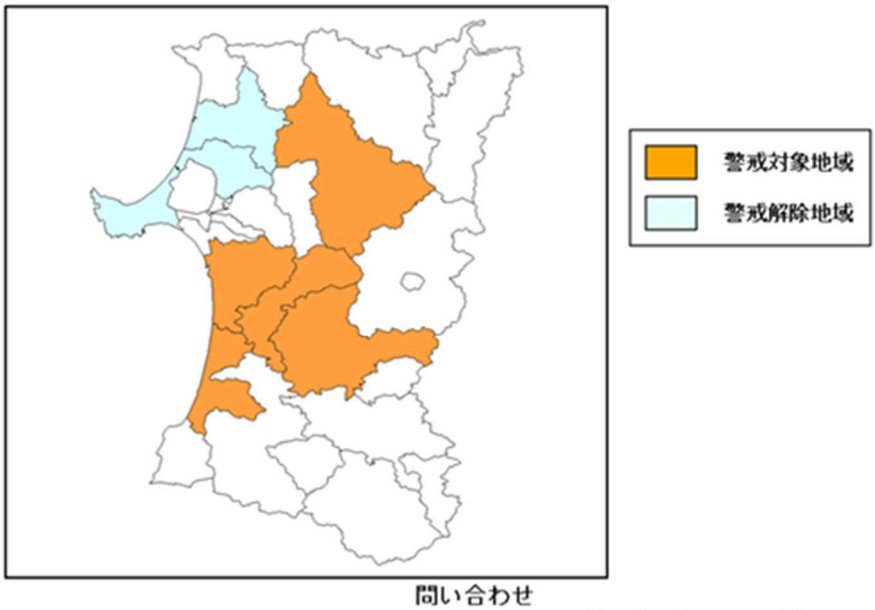
令和元年〇〇月〇〇日 〇〇時〇〇分
秋田県 秋田地方気象台 共同発表

【警戒対象地域】
秋田市秋田 秋田市河辺雄和　由利本荘市沿岸＊ 大仙市＊　北秋田市

【警戒解除地域】
能代市 三種町 男鹿市

＊印は、新たな警戒対象となった市町村を示します。

【警戒文】
＜概況＞
大雨のため、警戒対象地域では土砂災害の危険度が高まっています。
＜とるべき措置＞
避難が必要となる危険な状況となっています【警戒レベル４相当情報[土砂災害]】。
崖の近くや谷の出口など土砂災害警戒区域にお住まいの方は、市町村から発令される避難勧告などの情報に留意し、少しでも安全な場所への速やかな避難を心がけてください。
＜補足情報＞
市町村内で危険度が高まっている区域は、秋田県や気象庁のホームページで確認できます。秋田県「土砂災害危険箇所マップ」、気象庁「大雨警報（土砂災害）の危険度分布」



問い合わせ
018-860-2517（秋田県河川砂防課）
018-823-8291（秋田地方気象台）